



第 63 回日本学校農業クラブ全国大会平成 24 年度長野大会

運営：長野県内の農業関係高等学校（大会事務局：更級農業高等学校）

期間：平成 24 年 10 月 24 日(水)・25 日(木)

会場：長野市・松本市・木島平村・須坂市・佐久市・伊那市



スローガン『アルプスに 今こそ輝け 農クの集い』 『自然あふれる長野の地 農クの力 山より高く』

第 63 回日本学校農業クラブ全国大会平成 24 年度長野大会が、10 月 24・25 日の 2 日間、県内各地を会場にして開催されました。本県での開催は昭和 59 年以來、28 年ぶりとなり、県内農業高校 12 校が連携・協力し、全国 326 校からクラブ員・教職員 2,880 名のほか、来賓・役員・長野県連盟クラブ員・教職員を合わせると 5,500 名の大規模な大会を成功させることができました。

生徒たちは、各校代表で組織される生徒実行委員会を幾多も開催し、プロ講師によるマナーや取材記録の研修を受け、接待や撮影技術の向上を図るとともに、県内食材を用いた地産地消弁当を企画するなど、入念に準備を重ねてきました。

「明日へ、そして未来へ。夢をつなぐ。」を合い言葉に、“おもてなしの心”で全国のクラブ員を温かくお迎えし、知と技を競い合い、交流と友情の輪を広げ、農クの絆を深める大会となりました。

長野県勢の活躍は、プロジェクト発表：区分「文化・生活」と意見発表：区分「環境」で最優秀賞、平板測量競技優秀賞、農業鑑定競技優秀賞 6 校 15 名と特筆すべき成績を収め、本県の農業高校が元気で健在なことを全国にアピールすることができました。

1 農業クラブとは

昭和 25 年(1950 年)に誕生し、全国の農業学科並びに総合学科を置く高校の農業課程を学ぶ生徒が加入している組織です。

2 農業クラブ全国大会とは

毎年 10 月または 11 月に、各ブロック連盟とブロック内の都道府県の輪番により全国大会が開催されます。農業クラブ員にとって全国大会は、「**農業高校生のインターハイ**」です。全国各地区の大会等を勝ち抜いた農業クラブ員が一堂に集まり、日頃の授業や課外での学習成果の発表や技術を競い合います。全国大会に出場することは極めて名誉なことであり、農業クラブ員の大きな目標となっています。



大会式典：最優秀者表彰

発表・競技会・会議等	実施担当校
プロジェクト発表会	南安曇農業高等学校
意見発表会	下高井農林高等学校
平板測量競技会	須坂園芸高等学校
農業鑑定競技会	北佐久農業高等学校 丸子修学館高等学校
クラブ員代表者会議	上伊那農業高等学校 塩尻志学館高等学校
代議員会	更級農業高等学校
大会式典	更級農業高等学校 下伊那農業高等学校 木曾青峰高等学校
長野県の農林業展 日連コーナー	臼田高等学校 富士見高等学校



大会式典：プロローグ(マーチング)



大会式典：日連旗・大会旗・県連旗入場



プロジェクト発表(「文化・生活」最優秀賞: 富士見高等学校)



意見発表(「環境」最優秀賞: 木曾青峰高等学校)



平板測量競技 (優秀賞: 更級農業高等学校)



農業鑑定競技 (優秀賞: 6校 15名)



クラブ員代表者会議



代議員会



長野県の農林業展・日連コーナー



大会式典: 大会旗引継ぎ (首都圏大会へ)